



新郷の宝「陰徳の松」 2

前号で、「陰徳の松」には、(植樹した方の)地域の将来を担う子どもたちの健やかな成長を見守ってほしいとの思いが込められていることがわかりました。

また、「陰徳」が使われていることについて調べていくと

「ふるさと芦原町 碑探訪」(元芦原町教育委員 市村敬二氏 編著)に記載が見つかりました。

◆吉江照雄氏(河間・陰徳の松碑寄贈者)の話

故人の話によりますと、陰徳の松は、寺子屋時代に陰徳先生がおられ、小学校ができた頃に陰徳先生が記念樹として植えられた松だそうです。それで陰徳の松といわれるようになったのだそうです。

百十余年の松は、卒業写真を撮るたびに児童とっしょに写っています。 以下省略

吉江氏は現校舎建設時、伐採反対の中心となり、陰徳の松移転に尽力された方です。

◆小島利雄氏口述(中浜・「郷の集い60号」校長矢尾昭三氏記) 一部をまとめてあります

明治25年創立時、新郷小学校は田園地帯の真ん中に建てられ、校舎の廻りには樹木1本もなく殺風景でした。それを嘆いた校下の一村民がある嵐の夜に3本の松を校庭に植えました。

しかし、その当時はまだ身分制度の厳しい時代です。あの人が植えた松ならば切ってしまうとせっかく学校環境に潤いを与え子どもの成長に願いをこめて植えた松が切り倒されては大変です。

それでわざわざ雨の降る嵐の夜に誰にも知られずそっと植えられた松だそうです。校下の人達は、この3本の松が学校を思い、新郷に育った子供達の将来を願って植えられた奇蹟的な方の行為を称えて、だれ呼ぶということなく「陰徳の松」と呼ぶようになり大切に育てられました。

「陰徳」の意味についてのみ書きましたが、吉江氏、小島氏とも、「陰徳の松」が卒業生や地域の人達にとって親しみある大切なものであり、その心にしっかりと根を張り続けていることを付け加えています。

陰徳の松が切られて3年余たちますが、今もその存在の大きさを感じさせていただきました。新郷小の「宝」は、あたたかく子どもたちを見守り続けてきた地域の心にあることを再確認できました。子供達とともにその心を考える機会を持ちたいと思いました。ありがとうございました。

「陰徳の松」の思い出、本紙についての感想等ありましたらお願いします

睡眠の大切さを学ぶ…すこやか委員会

7/6(水)児童集会は、すこやか委員会(保健)が、睡眠の大切さについて、学び・健康・成長との関わりで発表しました。紙芝居の中に、児童に実施した就寝及び起床時間アンケート結果の考察や、睡眠時の眠りの深さと成長ホルモン等の分泌等をいれた工夫ある発表でした。子どもたちが、自分のいまをふり返り、より良い生活習慣を身につけようとする意欲につながって欲しいと思います。



児童感想

2年 すいみんれっしゃとは、はじめてきました。せい長ホルモンは、ほねをのばしてくれるとは知りませんでした。これからも、9時までにはねたいです。

3年 かみしばいのすいみんれっ車にのれるように、3・4年生の9時30分までにねたいです。すいみんれっ車に乗ってるときにくるホルモンのおべんとうは、大小あるけど、9時30分までにねて、大きい方のお弁当がほしいです。これからは、早ね早おきをして、朝ごはんをおいしく食べて、元気に学校に行きたいです。

4年 これからは、はやくねて、朝にねむくならないようにしたいと思います。起きたあとは、すっきりなりたいです。

5年 あんまり10時までにはねていないので ねるようにしたいです。学校にいるとき、目が痛くなることがあるので、早めにねたいです。背もあんまりのびていないので、伸びてほしいです。早くねたら、朝ご飯も食べれるので10時までにはねたいです。

5年 私は、すこやか委員会だったけれど、自分がお話を言っていて、私も自分のすいみん時間を見直して、睡眠列車に乗れるようにしたいと思います。

※睡眠と子どもの心身の関係(第2号 4/13 記事再掲)

◆夜間にゲームやスマホなどのディスプレイを長く見ていると、その光で睡眠を誘うホルモンが抑制され、眠れなくなる。

◆レム睡眠(脳が覚醒に近い状態にある睡眠)の際に、脳内で記憶の整理・定着が行われる。睡眠不足だと学習したことが脳内に定着せず、成績にも関係する。

◆ノンレム睡眠(脳が休息している深い睡眠状態)の際、成長ホルモンが大量に分泌される。睡眠不足だと成長に影響したり、筋力やけがの回復に影響したりする。

◆夜型生活をしながら学校生活を続けていると、慢性的な睡眠不足によって、疲労感や情緒不安定をもたらす、判断力を鈍らせたり、「うつ」に近い状態になり、「こころの健康」に影響を及ぼしたりする。(文科省・子どもたちの生活習慣を見直すため検討委員会)

今週のありがとう記事

環境美化活動…ペットボトル・空き缶拾い

放課後、宮前区の2人と通学路脇の農業排水路に捨てられたペットボトルや空き缶を拾いました。宮前から北本堂、角屋とつながる路肩、田畑には、毎日のように捨てられた空き缶が見られます。(多くがビール缶＝飲酒での運転と心配?)状況からは、通行する車内から投げられたものと考えられます。この記事(2人の活動)が、ご家庭や地域での問題提起になり、子どもたちのふるさと新郷づくりにつながるとういと思います。

翌日朝、きれいになった水路を見たとき、清々しい気持ちになりました。笑顔で活動した2人。ありがとうございます。

(たくさんのペットボトル) (カニも登場)



活動中、水路側壁の穴から、カニが出現しました。たわいもないことですが、得した気分になりました。

マリーゴールド配布

子どもたち力を合わせて育ててきたマリーゴールドが、花を咲かせ始めました。今後、あわらし観光協会にお渡しし、市内の観光施設等の花壇やプランターに定植されます。見かけましたら、長く咲き続けるよう心の中での声かけをお願いします。

また、各地区で集落センター等、必要でしたら連絡ください。少しですがおわけできるかと思ひます。

種まき、育苗ポット土入れ、ポット上げ、水やりと休み時間の作業奉仕。ありがとうございます。



4年感想 笹岡清掃センター

ゴミは、いつもきたないものだと思ひていたけど、ゴミが宿題のプリント、トイレトペーパーに使われていたのはすごいと思ひました。ゴミがいろいろなものに変身するというのがすごいと思ひました。

ビンの色が、茶、緑、青、黒、とう明があることを初めてしりました。全部、色によって種類がちがいます。

工場は、見た目はきれいでした。ゴミがつぶれていて小さくなっていました。トラックが数えられないほどありました。

ペットボトルは、ラベルとキャップを外してゴミに出すということが分かりました。

■登校時、通学路上を歩くカメを2度も目にしました。一度目は、県道センターライン付近で通行車両にはねられた後もありました。安全な場所へ動かしましたが、心配です。



ようこそあわらへ のぼり旗づくり

地域の青年会議所より坂井地区を訪れる観光客への歓迎のぼり旗制作を依頼されました。

図工の時間に、5・6年は「あわらし市・坂井市来訪歓迎」、3・4年は、「B1グランプリ」用でつくりました。地域の名産や観光地が紹介されています。

あわらし市・坂井市の観光施設などに設置される予定ですので、探してみてください。



*** ちょっと いっぶく ***

子どもたちと会話すると「へー、そうなんだ」と思うことがよくあります。

7月給食献立表を見ていて、デザート付きの日が多いと感じました。このことを話題に子どもたちに声をかけました。うれしそうに頷く子、今日のシャーベットはおいしいと話す子、実はスイカやメロンが苦手だと告白する子等、楽しい会話ができました。

「ところで先生、ニンジンが6月の給食で毎日出ているですよ」「えっ、本当か?気付かなかったなあ」「本当だって。7月に入ってからも、続けているよ」と、箸でニンジンを持ちあげて見せます。「なんでかなあ?」

6月の献立表を見ると確かに毎日入っていました。7月も8(金)まで毎日続きます。ニンジンがメインの料理は少ないだけに、気付かなかったようです。ニンジンは、料理の名脇役だということ教えられた気がします。それにしても、何故こんなに毎回なのでしょう。疑問が残りました。

- ・安価ながら、栄養面、食味とも給食が充実する
 - ・調理がしやすい
 - ・6月がニンジンの旬
 - ・色どりがきれいになる
 - ・ニンジン嫌いをなくしたい
- いろいろ考えると楽しくなります。

「おとうちゃん大好き」 おおさわかゆき
おとうちゃんは
カッコイイなあ
ぼく おとうちゃんに
にてるよね
おおきくなると
もつとにてくる?
ぼくも おとうちゃんみたいに
はげるといいなあ

(読売新聞(こどもの詩)1987・6・25)

新郷小学校休校記念事業兼防災体験
学校おとまり会 避難所を体験
8/6(土)16:30~7(日)8:00
流しむぎとろめん・夜の学校・炊き出し 等